

# 第30回関西学生対校女子駅伝競走大会

開催日：2020年9月26日（土）

場所：神戸しあわせの村

種目	距離	名前	学年	通過着順	区間着順	記録	備考
総合	30.0km	関西外国語大学		総合7位 (14チーム中)		1時間42分31秒	全日本大学女子駅伝 出場決定 (2年ぶり6回目)
1区	3.9km	山岸 みなみ	1年	4	4	12分57秒	1位 関西大学(シード) 1.39.44 2位 大阪学院大学(シード) 1.40.06 3位 立命館大学(シード) 1.40.46 4位 大阪芸術大学 1.41.09 5位 京都産業大学 1.41.47 6位 佛教大学 1.42.12 7位 関西外国語大学 1.42.31 8位 京都光華女子大学 1.42.39 (以上8チームが関西地区から本大会に出場)
2区	3.3km	森崎 綾乃	2年	8	10	11分10秒	
3区	6.5km	西出 優月	3年	7	3	21分54秒	
4区	6.5km	矢尾 桃子	2年	4	2	22分06秒	
5区	3.3km	太田 梨菜	4年	4	9	11分09秒	
6区	6.5km	田中 瑠美	3年	7	9	23分15秒	

## 【山本コメント】

本大会は、今回が30回目という節目になる伝統ある大会である。今年度も、全日本大学女子駅伝への出場権をかけて行われた。コロナ禍の中で開催が危ぶまれたが、多方面の多くの方々のご協力ご理解のおかげで、無観客ながら開催することができた。本学は昨年この大会で10位に沈み、全日本大学女子駅伝への連続出場を途絶えさせてしまったが、今回はシード3校を除く関西枠「5つ」の切符を目指して走り、その権利を獲得することができた。

レースは、シード3校が上位でレースを展開し、本学も5区終了までは4位と食らいついた。最終的には7位になったが、仙台への出場権はしっかり確保することができた。昨年はこの場所で学生たちは悔しい思いをしたが、それから1年間努力を重ねてきたことが今大会の結果につながったことを考えると、負けることは成長につながる大きなチャンスであることを強く実感した。私たちのあとの8位に入った京都光華女子大学も、昨年は私たちとまったく同じような立場で全日本出場を逃しており、ともに雪辱を果たす結果となった。今後も当然、他大学と勝ったり負けたりすることになるが、それは学生にとって必要な機会であり、今後もこういった切磋琢磨を通じてともに成長していくことを目指したい。

今大会は、感染予防対策として、無観客での開催となった。例年なら、現地で学生の家族やOB、OGなど多くの方々に、学生たちが走り感謝の思いを表現する様子を見ていただけたのだが、それが今回は叶わなかった。それは非常に残念だったが、ytvあすリートチャンネルさんのLIVE中継や、本学チームのFacebookやTwitterを通じて、学生たちが頑張っている姿を少しでも感じ取っていただけたとしたらうれしい。またコロナ禍の中でも、いやコロナ禍の中だからこそ、若者たちの頑張りと、エネルギーが世の中を元気づけることに対して、その一助になれたとしたらうれしい。2年ぶりの出場となる全日本大学女子駅伝では、他大学との勝負を心から楽しめよう、しっかり準備を進めていきたい。